

第14回「shiseido art egg」展 会期変更のお知らせ



西太志 Taishi Nishi
2020.10.2(FRI)-10.25(SUN)

橋本晶子 Akiko Hashimoto
2020.10.30(FRI)-11.22(SUN)

藤田クレア Kurea Fujita
2020.11.27(FRI)-12.20(SUN)



資生堂ギャラリーでは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今春に予定していた公募プログラム第14回「shiseido art egg(シセイドウアートエッグ)」入選者3名による個展を、**2020年10月2日(金)～12月20日(日)**にかけて、下記の通り開催いたします。

世界中でこれまでと異なる新しい日常が営まれている現在、生活様式だけでなく、芸術・文化をとりまく環境も大きな変化が生じています。作品発表の場所や方法が制限される一方で、こういう時代だからこそ芸術の重要性が語られる場面も多く見られます。

100年以上に渡って同時代の作家を紹介してきた資生堂ギャラリーでは、今年も「shiseido art egg」を通じて新進作家に表現の場を提供し、その創造性に触れることのできる空間を創出します。不確実・不安定と言われる時代だからこそ、真摯に現代社会に向き合い、生み出される作品は見るものに新たな気づきをもたらすことでしょう。本展覧会がよりよい社会を実現する一助になりましたら幸いです。

■変更後の会期

西 太志展 2020年10月2日(金)～10月25日(日)
橋本 晶子展 2020年10月30日(金)～11月22日(日)
藤田 クレア展 2020年11月27日(金)～12月20日(日)

※本展は**事前予約制**となります。

詳細は、資生堂ギャラリー公式 HP にて9月中旬頃にご案内いたします。

■作家によるギャラリートーク

作家本人が会場で自作について解説するギャラリートークを開催予定でしたが、
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**オンライン配信**いたします。

詳細は、資生堂ギャラリー公式 HP にてご案内します。

開催にあたり、参加作家3名の新たな意気込みを
本リリース p.3-5「作家プロフィール」ページでご紹介します。

■第14回 shiseido art egg について

14回目となる本年度は、全国各地より215件の応募をいただきました。今回も資生堂ギャラリーの空間を活かした独創的なプランが多く提案されましたが、選考の結果、独自の視点から今日の世界の新しい価値観や美意識を表現する3名、西 太志(にし たいし)、橋本 晶子(はしもと あきこ)、藤田 クレア(ふじた くれあ)が入選となりました。

昨年より、資生堂は「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(ビューティーイノベーションでよりよい世界を)」を新しい企業使命として定めています。アートによってもたらされる美しい出会いや経験は、これまでになく不安定な昨今の世の中において、私たちの生き方や考え方の一つの案内役になるかもしれません。それは、たとえ日常の小さな一部であったとしても私たちの行動を変えていくイノベーションにつながるものであり、今日の世界を美しく、よりよくするのは、私たち自身の行動だとも言えます。

資生堂ギャラリーでは、1919年のオープン以来「新しい美の発見と創造」という活動理念のもと、アートによる美しい出会いや経験を人々に提供する活動を続けてきました。2006年よりスタートした公募プログラム「shiseido art egg」は、瑞々しい新進アーティストによる「新しい美の発見と創造」を応援するものです。入選者は資生堂ギャラリーで開催される通常の企画展と同様に、担当キュレーターと話し合いを重ね、ともに展覧会を作り上げます。

なお、今年度の審査員には、今日のクリエイティブシーンで活躍する異ジャンルのプロフェッショナルとして、今井 俊介(美術作家)、大崎 清夏(詩人)、川上 典李子(ジャーナリスト、21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター)の3氏をお迎えし、shiseido art egg 賞の審査を実施します。

※shiseido art egg賞は、3名の入選作家の展覧会のなかから、資生堂ギャラリーの空間に果敢に挑み新しい価値の創造を最も感じさせた作品に贈られる賞。本年度は展覧会開催後に資生堂ギャラリー公式ウェブサイト受賞者を発表予定。

■各展覧会・作家プロフィール

西 太志展

会期:2020年10月2日(金)～10月25日(日)

西は、虚構と現実の境界や匿名性をテーマに制作を行い、絵画と陶土で形づくられた立体作品を通じて、画像と物質性の相互関係を探ります。世界中に氾濫する情報に対して、自身の体験や記憶を織り込みながら再構築する行為は、作家にとってのリアリティを追求するものであり、絵画と現実世界を対比する試みは見るものに新たな景色を提示するでしょう。

1983年 大阪府生まれ

2015年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程

絵画専攻油画修了

静岡県在住



主な活動

2018 「NIGHT SEA JOURNEY」GALLERY ZERO(大阪)個展

2016 「シェル美術賞展2016」国立新美術館(東京)参加

開催にあたってのコメント

この度は、コロナウィルスの感染拡大の影響により、開催が延期されていた”shiseido art egg”が再開される見通しがつき、大変嬉しく思っています。未だに日本だけでなく、世界中で不安な情勢が続いていますが、展覧会を無事に開催、閉幕できるように尽力するつもりです。ただ、コロナ以前とコロナ以後では、全ての見え方が変わるのかもしれない。とも感じています。現実感を伴わないと思っていた様々な出来事が、いよいよリアルな現実として、世界中で共有しているような、今日も外はマスクをつけた人々で溢れていて、ふとそんな風に考えてしまうのです。

作品画像



「NIGHT SEA JOURNEY」2018
水性アルキド樹脂、油絵具、木炭、
顔料、キャンバス



「明晰夢の案内人」2018 陶土、磁土、麻布、羊毛、顔料
「光の粒が海に浮かぶ」2018 水性アルキド樹脂、油絵具、
木炭、顔料、キャンバス

橋本 晶子展

会期:2020年10月30日(金)~11月22日(日)

橋本は、鉛筆で描いたモノトーンの絵画を現実の世界に同期させ、空間に潜むもうひとつの風景を生み出します。植物やグラス、鳥などをモチーフに緻密に描写された絵画たちは、ギャラリーの白い壁に呼応しながら光や時間、距離、気配を感じさせます。鑑賞者は橋本が創り出す静かな空間と、現実の空間を行きかうことになるでしょう。

1988年 東京都生まれ

2015年 武蔵野美術大学大学院 造形研究科修士課程
日本画コース修了

東京都在住



主な活動

2018 「Yesterday's story」Cité internationale des arts(パリ)個展

2018 「It's soon.」Little Barrel(東京)個展

開催にあたってのコメント

春からあっという間に季節が過ぎ、展示をとりまく環境も変わってきました。また現在も、状況がうつり変わるさなかにあるようです。そんな中でも、ありがたいことに作品発表の機会をいただきました。この数ヶ月の間には、その場を訪れること・この場で遠くを見ること、といった今回の作品にも通じるいくつかの言葉を通して、展示という出来事について思いなおす時間もありました。今は、あの地下へと続く階段と大きな白い壁の空間に、まずは作品を果たそうと思います。期間中、この場所で起こっていることに気づいていただけたら嬉しいです。

作品画像



「Yesterday's story」(部分)2018

鉛筆、紙、部屋 撮影: Watson studio



「It's soon.」(部分)2018 鉛筆、紙、部屋

藤田 クレア展

会期:2020年11月27日(金)～12月20日(日)

藤田は、世の中に存在するさまざまな差異や境界線、変化するコミュニケーションのあり方に着目します。人間の関係性を見つめなおし、素材を組み合わせ、動き、音などを用いることで、あいだに存在するエネルギー、リズム、距離、時間／歴史などを表現します。見えない繋がりを感じさせ、記憶を呼び覚ます作品となるでしょう。

1991年 中国北京生まれ

2018年 東京藝術大学大学院 美術研究科修士課程

先端芸術表現専攻修了

東京都在住

主な活動

2018「交叉域 Cross Domain」蘇州金鶏湖美術館(中国、蘇州)参加

2019「Resonance Materials Project 2019 ～Sensory～」

(ミラノデザインウィーク)参加



撮影:オリビア・モエクリ

開催にあたってのコメント

自粛している間、なんて事もない気づきが幾つもありました。

一つ挙げるとしたら、今までの作品では「如何に二つの物を物理的に近づけるか」を探っていましたが、今世間では「如何に物理的距離を取りながら、繋がり合うか」が重視されるようになったかと思えます。それを目の当たりにし、一旦原点に立ち戻って「繋がり」ということ自体が何なのか。どのような構造を持つのか。について重点を置くようになりました。制作をする上でも今までと違った制限があって不便ですが、環境と共に我々も変化する必要性と可能性にも気がつかされました。

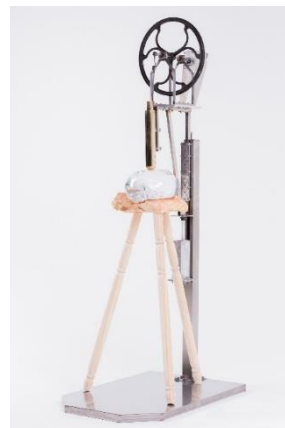
展示にお越しになってくださる方々には是非、私の考える「繋がり」を観て、感じていただけたらと思います。お会いできることを楽しみにしております。

作品画像



「閼 ～The smallest detectable sensation～」2018

ミクストメディア



「Never the same」2019

ミクストメディア

■「第14回 shiseido art egg」展 開催概要

- ・主催 : 株式会社 資生堂 社会価値創造本部 アート&ヘリテージ室
- ・会期 : 西 太志展 2020年10月 2日(金)～ 10月25日(日)
 橋本 晶子展 2020年10月30日(金)～ 11月22日(日)
 藤田 クレア展 2020年11月27日(金)～ 12月20日(日)
- ・会場 : 資生堂ギャラリー
 〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階
 tel.03-3572-3901 fax.03-3572-3951
 URL : <https://gallery.shiseido.com/jp/> (資生堂ギャラリー)
 <https://gallery.shiseido.com/jp/artegg/> (shiseido art egg)
 twitter.com/ShiseidoGallery (資生堂ギャラリー Twitter)
 平日 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00
 毎週月曜休(月曜日が祝祭日にあたる場合も休館) 入場無料

※本展は、**事前予約制**となります。

予約方法等の詳細は、資生堂ギャラリー公式 HP にて9月中旬頃にご案内いたします。

■関連企画 開催概要

* 作家によるギャラリートーク

作家本人が会場で自作について解説するギャラリートークを、
各展覧会開始後にオンライン配信いたします。

詳細は、資生堂ギャラリー公式HPにてご案内します。

※やむを得ない理由により、開催の延期・中止や予告なく内容が変更になる場合があります。